

國學院大學北海道短期大学部

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

| 大学名 | | 國學院大學北海道短期大学部 | | 設置者名 | 学校法人國學院大學 | | | | |
|-----------------|-----------|-------------------------------|------|---------------------|-----------|-------------------------|---------|-----|--------|
| 学部・学科等の名称等 | | | | 認定を受けている免許状の種類・認定年度 | | 免許状取得状況・就職状況 (令和6年度) | | | |
| 学部 | 学科等 | 設置年度 | 入学定員 | 免許状の種類 | 認定年度 | 卒業者数 | 免許状取得者数 | | 教員就職者数 |
| | | | | | | | 実数 | 個別 | |
| | 国文学科 | 平成12年度 | 85人 | 中学二種（国語） | 令和元年度 | 72人 | 17人 | | 0人 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 総合教養学科 | 平成12年度 | 85人 | 中学二種（英語） | 令和元年度 | 102人 | 3人 | | 0人 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | 幼児・児童教育学科 | 平成12年度 | 55人 | 幼二種免 | 令和元年度 | 36人 | 35人 | 21人 | 5人 |
| | | | | 小二種免 | 令和元年度 | | | 14人 | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 入学定員合計 | | | 225人 | 合計 | | 138人 | 55人 | 35人 | 5人 |
| 教員養成に関する情報の公表状況 | | 令和7年度自己点検評価報告書で報告予定。令和8年3月発行。 | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | |

教職課程実地視察に対する講評

実地視察日：令和7年11月27日（木）

実地視察大学等：國學院大學北海道短期大学部（オンライン）

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程については是正すべき点が確認されたため、今後教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○貴校としての教員養成に対する理念・構想について、それを明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、今後も努めていただきたい。

○ファカルティ・ディベロップメントやスタッフ・ディベロップメント等を通じて、教員養成に関する最新の制度等への理解を図るとともに、教職課程コアカリキュラムをふまえたシラバス内容の確認・充実、及び教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

○教育職員免許法施行規則第二十二條の六に基づく教員養成状況に関する情報公開に関し、一般の人が閲覧しやすいよう整理した上で、情報公開のページへ掲載すること。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教育研究実施組織

○「教科及び教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目や、教職課程コアカリキュラムに定める到達目標が含まれているか判然としない授業科目が散見されたため、授業内容及びシラバスの見直しを行うこと。

○特に ICT 関係については、「教職課程における教師の ICT 活用指導力充実に向けた取組について」（令和2年10月5日中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会）の内容もふまえた見直しを検討いただきたい。

3. 教育実習の取組状況

○教育職員免許法施行規則に定めるとおり、教育実習の事前及び事後の指導は別の区分の教職科目とあわせて開講はできない。科目区分及び単位認定に必要な時間数、単位認定時期が整合するよう、速やかに対応すること。

○実習先で使用する ICT 機器や学習支援ソフトウェア等に関し、学生が教育実習に行く前に操作方法等を学ぶことができるよう、実習先との連携に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 履修カルテを単なる成績記録ではなく「学修の振り返りと将来設計を支援する教育的ツール」として活用することで、例えば卒業後四年制大学へ編入学した際の引き継ぎを可能にしていることは評価できる。
- 同法人である國學院大學へ編入する学生の割合が多いことをふまえ、同大学と連携の上、情報の収集及び編入学を目指す学生へ情報を提供できるよう、環境の整備に努めていただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 学生の成果発表や教育実習、教員採用等に関し、教育委員会と連携し内容の充実を図っていることは、評価できる。
- 「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」に基づき教職課程を学ぶ学生が児童生徒性暴力等の防止等に関する理解を深めるための措置に関し、北海道教育委員会と連携し「教師論」や「教育社会学」などの授業科目において、最新の関連ニュース等も交えて取り扱っていることは、評価できる。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設・設備については、全般的に良好に整備されていることを確認できた。
- 国語と英語以外の小学校の教科の指導法に関する図書や雑誌の充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 担当科目に関わる活字業績を有さない教職科目担当教員が見受けられたため、ファカルティ・ディベロップメントを通じた授業内容の省察・改善や、関係学会や研究紀要への論文投稿などにより、担当科目において含めることが必要な事項に関わる研さんを積むことを可能とする環境の整備に取り組んでいただきたい。